

# 町長提出10議案、 議員提出2議案を可決

定例会  
12月会議

定例会12月会議は12月1日から7日まで開催され、町長から滝桜の観桜料変更をはじめ、各会計補正予算など10議案が提出され、審議の結果、全会一致で可決されました。

議会委員会からは、すべての医療・介護従事者の処遇改善や

人員増を求める意見書の提出を求める議案と健康保険証廃止の中止を求める意見書の提出を求める議案を提出し、審議の結果、全会一致で可決され関係機関に意見書を提出しました。

## 陳情

原発事故汚染水(ALEPS処理水)の  
海洋放出中止の意見書提出を求める陳情書

陳情者

モニタリングポストの継続配置を求める

市民の会・三春

共同代表 大河原さき、二瓶朝夫

## 「不採択」に賛成

過去数回にわたり、同様の趣旨の陳情がなされた経緯があり、現実として県民は被害に遭っている。しかし、海洋放出の実施に至ったことは、廃炉の完了こそが福島県の真の復興であると考える。この難局を乗り越えることが復興の道筋であると思う。(影山常光)

三春町議会で過去4回可決された意見書が、政府と東京電力への明確な反対意思表明であると考えられる。政府とAEEAは、処理水放出に対して、最後の放出が完了するまで責任をもって、環境に対しての評価を継続していくと表明しており、処理水放出は国際基準値下限以下であることを具体的数値で公表している。(二瓶一壽)



## 「不採択」に反対

政府が、約束を守らないで処理水放出を強行したことが問題である。政府は直ちに処理水放出を中止し、漁業組合と改めて話しをして、真の理解を得るべきだ。(佐藤 弘)

一部の国が認めたからといって、全世界から容認されたと考えてるのはいかがなものか。また、放射性物質を放出している国が他にあるから良いという考え方は、自分の国さえ良ければ良いという誤った考え方だと思う。今、求められていることは、安全安心な海を次の世代に手渡すことではないか。(山崎ふじ子)



## 結果

不採択 (不採択に対し賛成多数)